



平成 25 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 内 田 洋 行
代 表 者 名 代表取締役社長 柏 原 孝
(コード番号 8057 東証・大証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役執行役員管理本部長
秋 山 慎 吾
(TEL. 03-3555-4066)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 9 月 3 日の平成 24 年 7 月期決算発表時に公表いたしました平成 25 年 7 月期通期の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 25 年 7 月期通期業績予想数値の修正

(平成 24 年 7 月 21 日～平成 25 年 7 月 20 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	130,000	1,000	1,400	550	10 円 95 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	127,500	400	750	300	5 円 97 銭
増 減 額 (B-A)	△2,500	△600	△650	△250	—
増 減 率 (%)	△1.9%	△60.0%	△46.4%	△45.5%	—
ご参考 前期実績 (平成 24 年 7 月期)	121,294	△228	209	△660	△13 円 15 銭

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成 25 年 7 月期通期業績予想数値の修正

(平成 24 年 7 月 21 日～平成 25 年 7 月 20 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	84,000	△300	250	200	3 円 97 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	82,500	△1,100	△450	100	1 円 99 銭
増 減 額 (B-A)	△1,500	△800	△700	△100	—
増 減 率 (%)	△1.8%	—	—	△50.0%	—
ご参考 前期実績 (平成 24 年 7 月期)	78,281	△1,078	△485	△790	△15 円 70 銭

3. 連結業績予想修正の理由

当社が本日公表いたしました当第 3 四半期連結累計期間の実績では、前年同四半期と比較し、売上高は 7.2%増、経常利益は 6 億 2 百万円増、四半期純利益は 6 億 1 千 5 百万円増となるなど、経常利益の拡大と当期純利益の黒字化に向け一定の成果がでてきておりますが、オフィス関連事業分野での、首都圏、京阪神を除く地域での需要減少や、情報関連事業分野での当期前半の大型プロジェクトでの利益率低下の影響等もあり、未だ通期での改善目標には不足しております。

第 4 四半期につきましては、公共関連事業分野では、政府の大型補正予算による文教関連の需要増を計画に織り込んでおりましたが、各自治体での実際の執行は翌事業年度以降になると見込まれ、また、オフィス関連事業分野では、急速な円安により海外製オフィス家具の利益率低下と取引の減少など厳しい状況が見込まれております。

これらにより、通期の売上高は既発表予想に比べ 25 億円減少し、1,275 億円（前年同期比 5.1%増）となる見込みであります。

営業利益は既発表予想に比べ 6 億円減少の 4 億円（前年同期は 2 億 2 千 8 百万円の損失）、経常利益は既発表予想に比べ 6 億 5 千万円減少し、7 億 5 千万円（前年同期比 257.7%増）となる見込みであります。また、当期純利益は 3 億円（前年同期は 6 億 6 千万円の損失）となり、前年同期から 9 億 6 千万円改善するものの、既発表予想を 2 億 5 千万円下回る見込みであります。

4. 個別業績予想修正の理由

売上高、営業利益、経常利益の主な修正理由は連結業績予想修正理由と同様であります。

当期純利益につきましては、固定資産売却等の特別利益の計上があることから、既発表予想との乖離は 1 億円の減少に留まる見込みであります。

※上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上